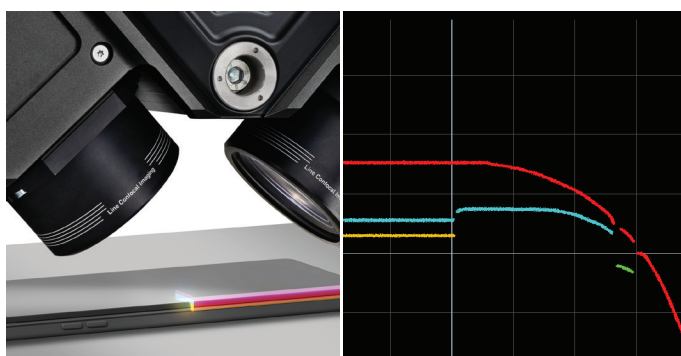


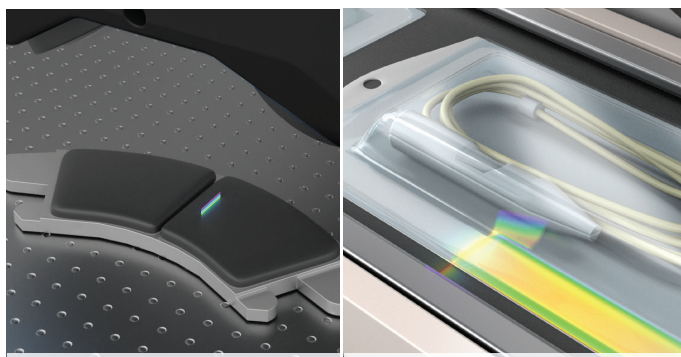
Gocator® 5500 シリーズ

3D スマートライン共焦点センサー



マルチレイヤーの携帯電話ディスプレイ検査とそのソフトウェア出力

Gocator® 5500 シリーズの Gocator® 3D スマートセンサーに特許取得済みのライン共焦点イメージング (LCI) テクノロジーが加わります。これらのライン共焦点センサーは、3D トポグラフィー、3D トモグラフィー、2D 強度データの同時生成により、高速で、広範囲のカバレッジのラインスキャンを提供します。これにより、Gocator® 5500 シリーズは、サブミクロンの精度で、また競合する共焦点テクノロジーを上回る品質とスピードで、実質的にあらゆる材料タイプ (マルチレイヤー、透明/半透明、曲面のエッジ、光沢面/鏡面、高コントラストのテクスチャー面、混合、およびその他多数を含む) をスキャンできるようになります。



ブレーキパッドの表面粗さ検査

医療用シール完全性検査

- マルチレイヤーの構造からの複数のプロファイルの同時生成
- プロファイルごとの 1792 データポイントの生成
- 高速スキャンレート (PC アクセラレーションにより 16KHz を超える)
- 幅広い材料タイプを処理
- 2 軸光学設計でより高い信号品質を実現
- LMI の次世代の測定および検査ソフトウェアを実行



微細な特徴を検出する 2 軸の光学設計

Gocator 5500 センサーは、ノイズ耐性を向上させ、より高い信号品質を提供する 2 軸光学システムを使用しています。これにより困難な表面と微細な特徴をスキャンすることを可能にしました。

3D トポグラフィー、3D トモグラフィー、2D 強度データを生成

Gocator® 5500 センサーは、材料の各レイヤーに対して 3D トモグラフィー、3D トポグラフィー、2D 強度データを同時に生成し、個別のレイヤーの厚みを測定したり、セカンダリレイヤーの欠陥を検出したりすることができます。

高速。高解像度。

Gocator® 5500 センサーは、カスタム高速撮像素子と先端エレクトロニクスを実装。16 kHz 以上の高速スキャン、PC アクセラレーション、測定器グレードの検査、視野のスケーリングにより、最大 2.5 ミクロンの X 解像度、最大 0.05 ミクロンの Z 再現性を実現します。

測定・検査ソフトウェアが付属

Gocator® 5500 のセンサーは、LMI の主要スマートセンサーのアーキテクチャに基づき構築されています。このアーキテクチャには、内蔵測定ツールのある使いやすいウェブベースのインターフェース、I/O 接続、PC を使用して高速化されたマルチレイヤープロファイリングのサポートが含まれています。

5500 シリーズモデル	5504	5512	5516
データポイント/プロファイル	1792	1792	1792
解像度 X (μm) (プロファイルデータ間隔)	2.5	6.5	9.9
直線性 Z (MR の +/- %)	0.03	0.07	0.04
再現性 Z (μm)	0.05	0.2	0.25
解像度 Z (μm)	0.16	0.72	1.50
クリアランス距離 (CD) (mm)	7.8	19.1	61.3
測定範囲 (MR) (mm)	1.1	3	5.5
視野幅 (FOV) (mm)	4.3	11.6	17.0
最大鏡面傾斜度 (deg)	± 15.0	± 20.0	± 13.5
外形寸法 (mm)	60x190x303	91x354x419	113x358x440
ハウジング保護等級	IP67	IP55	IP50
重量 (kg)	5	19	21

すべての 5500 シリーズモデル	
スキャン速度	16kHz以上 (PCで加速した場合、加速なしは300Hz) (フルMR: G5504 2100 Hz、G5512 4200 Hz、G5516 3800 Hz)
インターフェース	ギガビットイーサネット
入力	差動/シングルエンドエンコーダー、トリガー
出力	2x デジタル出力
工場通信	PROFINET, Modbus, EtherNet/IP, ASCII, Gocator
入力電圧 (電源)	Gocator 5512/5516: +24-48 VDC (+/- 5%) @ 62 W, Gocator 5504: +24-48 VDC (+/- 5%) @ 48 W
動作温度	15~35°C
保管温度	-30 ~ 70°C
耐振動性	10 ~ 55 Hz、X、Y、Z 方向での二重振幅 1.5 mm、1 方向あたり 2 時間
耐衝撃性	15 g、半正弦波、11 ミリ秒、X、Y、Z 方向に正および負
スキャンソフトウェア	構成およびリアルタイム 3D ビジュアライゼーションのために、ブラウザベースの GUI とオープンソース SDK を利用しています。ユーザーのアプリケーション、サードパーティの画像処理アプリケーション、ロボット、PLC のために、オープンソース SDK、ネイティブドライバ、産業用プロトコルを利用しています。

